

今後の予定

- 1月 1日 (土) 6時 修正会 先着80名様笑福銀杏お配りします

- 1月 1日 (土) 10時 元旦護摩 皆様の家内安全を護摩祈願しております
どうぞ護摩堂の中で一緒に手をおあわせください

- 1月 4日 (火) 年始廻り

- 1月 16日 (日) 14時 厄除け
新春護摩 厄年早見表参照〈祈禱料五千元〉の上
お申込みください(別日希望の方は要相談)
交通安全、試験合格等も祈願いたします

- 1月 23日 (日) 14時 初地蔵 令和3年新仏供養になりますが
それ以外の方でもご希望の方は
お問合せください
檀徒以外の方もお参りできますので、
お問い合わせの上お申し込みください

- 1月 30日 (日) 8時 境内清掃 (予備日2月6日)
今年の当番は苅野上・弘西寺・福泉です
よろしくお願ひします

- 2月 15日 (土) 14時 涅槃図
絵解き 昔の人は涅槃図から生きるヒントを
学んできました。仏教に触れることが
少なくなった今、弘濟寺でお釈迦様の
教えに触れてみませんか？

月行事

- ◎毎月21日 午前6時より朝のお勤め会 一緒に朝活しませんか(お経と法話約30分)

- ◎毎月21日 10時より月例護摩祈願 護摩札 五千元 護摩木 三百円

- ◎毎週水曜日 ヨガ教室10時~本堂にて(1回1000円)1月5日よりスタート

- ◎毎月第2水曜日 タピボン教室13時半~客殿にて(1回1000円)1月12日,2月9日,3月9日

令和四年 厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
男性	23歳 平成11年生	24歳 平成10年生	25歳 平成9年生
	40歳 昭和57年生	41歳 昭和56年生	42歳 昭和55年生
	59歳 昭和38年生	60歳 昭和37年生	61歳 昭和36年生
女性	17歳 平成17年生	18歳 平成16年生	19歳 平成15年生
	31歳 平成3年生	32歳 平成2年生	33歳 S64年H元年生
	59歳 昭和38年生	60歳 昭和37年生	61歳 昭和36年生

令和4年1月16日14時より 厄除け護摩
※ 別日ご希望の方はお問合せください

レストラン
マジェール

★法事用特別コース
4,000円
4名様より(個室完備)

☎82-0335
開成町宮台63(シャトレーゼ向い)

Pasta & Cafe
MAJEAL
Everyday Enjoy, more "E" zone
マジェール since 1995

ご贈答品のご用命は

足柄ハリカ

南足柄市飯沢51-4 火曜定休日
TEL (0465) 74-5221

有限会社 **勝又**

南足柄市飯沢12-10
☎ (0465) 74-2306

お地蔵さん修復日記

銚がすがい修理



上 錆びて使えなくなった銚
下 新品

お地蔵さんには木と木を繋ぎ合わせる銚が使われています。これも錆びて使えないうえに江戸打刃物の老舗「八重樫打刃物製作所」にて復元されました。大きさは4cm×1cm。これを3個注文して作って頂く。瓔珞の一部もそうでしたが、すごい世界です。八重樫打刃物製作所は江戸時代より続く鍛冶屋さんで、一本一本手で仕立てられた刃物は手に馴染み、切れ味の鋭い包丁として、人気があるそうです。東京に行く用事があったので、葛飾区にある八重樫さんを訪ねてみました。四代目の宗秋さんにお話を伺うと三乗堂さん



楽天の三徳包丁 商品説明より
伝統製法「総火造り」
右が4代目宗秋さん

にはオーダーメイドの彫刻刀を納めたり、やりとりが結構あるんですよ。あなた小田原から来たの？
ついこの間も小田原木工の方にのみを納品したばかりですよ。」
と言いつつ、近くに並んでいる料理包丁を分厚いゴツゴツした職人さんの手で持ちながら、宗秋さんのこだわりや、材質の説明をしてくださいました。これもお地蔵さんとのご縁と感じ、宗秋の三徳包丁をいただいて帰りました。

銚という字は「金」偏に「送」と書きます。

「送るには橋渡しの意味があるそうで、予は銚」ならぬ「お地蔵さんは銚」で、
どんどんご縁が広がっています。感謝です。

これでお地蔵さんの修復は終了しました。1月の半ばに栃木より戻られ、20日より本堂に安置されます。修復日記で触れた箇所はもちろんです。地域をお守りくださっている長い年月の、一時ではありましたが、修復に立ち会えた事にも心を寄り添わせて、お参り下さい。皆様のご協力ありがとうございました。お地蔵さんの隣にいらっしゃる掌善童子、掌悪童子にも注目!!です。
この後、お地蔵さんの後にある「光背」の修理に入ります。

弘濟寺地蔵堂の二童子像

前号の写真で取り上げました
掌善童子について鎌倉国宝館
館長 山本勉先生より 調査依頼の
連絡を受けました。山本先生といえは
平成22年のかわら版38号で紹介
させて頂いた『仏像のひみつ』の



著者でいらっしゃいます。
「え〜〜っ!!」という驚きのリアクションしかできませんでしたが、話が進みまして、昨年9月に助手の学生さんと来寺していただきました。細かな調査、寸法を計ったり(写真上)造形を目視で確認したりすると約1時間。調査が終わり、一緒に写真を撮っていただき(写真下)本にサインもしてもらいました。すると、先生から、かわら版に調査結果の原稿を書きましようか? なんて恐れ多いけれど、光栄極まりないお話があり、わたしはすっかりお願いししまいました。後日いただいた原稿は、なんと先生直筆の文章で、もったいない事だと思っています。



そのまま掲載しましたので
皆様ご覧ください。
山本先生大変ありがとうございました



目録書道会客殿大作作品
「ありのまま」
片山秀岳先生

弘濟寺公式 LINE

竹誌に掲載の
話題沸騰中!!



足柄版 ■発行：株式会社タウンニュース社 ■編集室：〒250-0042 小田原市鞍馬500 TEL: 0463-33-3300 FAX: 0463-33-3301

地域の伝承題材の物語

弘濟寺が冊子発行

南足柄市の弘濟寺(玉野真住職)が、このほど地域に伝わる昔話を題材にした短編物語の冊子「弘濟寺と一つ目小僧」を発行した。

物語は、地域で開かれていた年中行事「どんど」の由來を、一つ目小僧との関係を示しながら展開。日々、自分自身を律して生きていくことの大切さを説いている。

玉野住職は「地域に伝わっているお話を、子どもたちにも知ってもらいたい。これを通してそこに暮らす人々の願いと道祖神さんやお地蔵さんの御心に触れて頂けたら」と話している。冊子の定価は300円。同寺で購入できる。問い合わせ先は0465-74-1717

加え、愛らしいイラストもあつて子どもでも楽しめる一冊となっている。

弘濟寺では、真言宗立教開宗1200年の記念事業として、地蔵菩薩坐像の保存修復をしており、冊子はこの事業に合わせ作成したものだ。

山本勉先生 特別寄稿

弘濟寺地蔵堂の二童子像 山本勉

お彼岸中日の九月二十二日に、地蔵堂に安置されている二童子像を調査させていただきました。現在修理が進んでいる本造地蔵菩薩坐像（南足柄市指定文化財）に随侍する二体のこともの姿の仏像です。地蔵菩薩に二童子が随侍することは、鎌倉時代初め頃に日本で偽作された『仏説延命地蔵菩薩経』に説かれ、一つは掌手善ことと、それぞれ別の姿の特徴が説明されています。二童子の姿は不動明王の二童子、つまり矜羯羅・制吒迦と同じです。

地蔵堂の二童子は、掌手善童子が像高四五・七cm、掌悪童子が像高四六・三cm。いずれもヒノキ材の彫刻が造りという、一本の材木から頭体の中心部分を彫り出して、そのあと材を割って内部を削りぬく技法で造られています。表面はいまは黒ずんでいます。また、もとはきれいに彩色されていたようで、一部には切金とって細く切った金箔も用いられていたようです。また、眼は玉眼といって、削りぬいた内部から瞳を描いた水晶のレンズをはめる技法が用いられています。どちらの像も小さな像ですが、たいへんいい感じに造られていて、作者の技術がみごとであることもわかります。

掌手善童子は不動明王の二童子でいえば、矜羯羅童子にあたります。矜羯羅童子はあまり体と動かさず、静かに立つことが多いのですが、地蔵堂の掌手善童子は、掌悪童子の動きに対応するかのようになっています。衣の裾も大きくなびくのが特徴です。お手本になった特別の図像があるのかどうかなどは、これから調べてみたいと思います。

二童子像が随侍する現在修理中の地蔵菩薩像は従来から鎌倉時代末ないし南北朝時代初期の製作といわれており、わたしもそれに賛成です。では、この二童子像はいつ造られたかという点、断言するのはなかなかむずかしいのですが、前にのべたようになっている技法や卓抜な表現からみて、地蔵菩薩像に近い時期の製作と考えることは不可能ではないでしょう。

『仏説延命地蔵経』に説く地蔵菩薩二童子像は、絵画では滋賀・浄信寺に鎌倉時代、十三世紀に下がる作例があります（国指定重要文化財）、彫刻では延文三年（一三五八）院向作の新潟・宝蔵寺像がもっとも早い作例として知られています。弘濟寺地蔵堂の三像はそれと同じ頃の、あるいはそれより後の時期の地蔵菩薩二童子像の作例かもしれませぬ。今後の研究がこちらに注目されます。（二〇二二年九月二十六日記）